横浜市生活環境の保全等に関する条例に基づく
地下水採取の許可に係る申請書作成の手引き

令和７年３月

横浜市みどり環境局水・土壌環境課

申請にあたっての注意事項

（1） 本手引きについて

本手引きは、横浜市生活環境の保全等に関する条例(以下、「市条例」という)に基づく地下水採取許可申請書または地下水採取に係る変更許可申請書を作成するための手引き(参考例)です。地下水採取に係る規制内容等を知りたい場合は、別途パンフレット「地盤沈下と地下水 ～地下水採取規制の内容について～」をご覧ください。

（2） 申請書の作成について

本申請は地下水採取許可申請書または地下水採取に係る変更許可申請書の鑑と揚水施設の内容等を確認する添付資料により構成されています。作成にあたっては次ページのチェックシートにより、必要な書類が添付されていることを確認し提出してください。

（3） 提出について

当課への提出は1部となりますが、控えが必要な場合は2部作成してください。(押印のうえ1部返却します。)また、提出時は担当者が不在等の場合がありますので、事前にアポイントをとっていただけますと、お待たせせずにご案内ができます。

（4） 情報公開について

提出書類については、個人情報を除き原則として全て情報公開対象文書となります。

（5） 担当部署及び連絡先

横浜市みどり環境局 環境保全部 水・土壌環境課 土壌対策担当
〒231-0005 横浜市中区本町6丁目 50 番地 10
電話番号：045-671-2494 ファクシミリ：045-671-2809
電子メールアドレス：mk-dojo@city.yokohama.lg.jp

提出書類チェックシート

書類番号	書類名称・種類（記載事項の注意点）	チェック
	地下水採取許可申請書（第 27 号様式（第 61 条第３項）） ・様式は、本市ホームページからダウンロードできます。 URL：https://www.city.yokohama.lg.jp/business/bunyabetsu/kankyo-koen-gesui/kiseishido/dojo/jiban/chikasui.html ・申請書への代表者印は不要ですが、申請者側で必要であれば押印して頂いても構いません。	□
①	地下水の採取を行う場所の案内図 ・地図等を複写して利用する場合、その発行・出版元の複製利用に関する条件を確認の上、複製利用に承諾が必要な場合は必ず承諾を得るようにしてください。	□
②	揚水施設の配置状況図 ・揚水施設の設置場所が確認できる図面を添付してください。	□
③	揚水施設の構造図及び井戸の水位測定基準面 ・揚水施設全長、ストレーナ設置深度及び区間長、ケーシング管・揚水管・水位測定管の全長及び種類（例 VP150 や SGP100 など）、水中ポンプ設置深度、水位測定基準面を明示した図面を添付してください。	□
④	地下水の利用系統図 ・地下水採取量、受水槽により貯水する水量、事業所内の用途別使用量及び下水道への流出量について、図化（フロー図）してください。	□
⑤	井戸の地質柱状図、揚水試験表等 ・付近で試掘した際に作成した柱状図を添付してください。 ・揚水試験表等については揚水試験実施後に添付してください。	□

≪記入例≫

第 27 号様式（第 61 条第３号）

（１）

地下水採取許可申請書

令和○○年○○月○○日

（申請先）
横浜市長

申請者　　住　所　*横浜市西区○○町一丁目1－1*
氏　名　*株式会社○○○○工業*
代表取締役　横浜　創造
（法人の場合は、名称及び代表者の氏名）

横浜市生活環境の保全等に関する条例第 72 条第１項の規定により地下水採取の許可を受けたいので、関係書類を添えて申請します。

事業所の名称等	名　　称	*株式会社○○○○工業　第一工場*		
	所　在　地	*横浜市中区○○町二丁目２－２*		
	業　　種	*○○製造業*	主要な生産品目	*○○○*
地下水採取を行う場所		*横浜市中区○○町二丁目２－２*		
地下水採取開始予定年月日		*令和○年○月○日*		
地下水採取予定量		*８０㎥／日*	揚水施設の数	*1*
地下水採取の必要性及び他の水源をもって地下水に代えることが著しく困難である場合の理由		*（例）○○製造を行うにあたって、地下水を利用したいため*		
連絡先		*総務部　総務課　環境対策係* 担当者氏名　*○○　○○* 電話番号　*045-123-4567*　（内線）*直通*		

法人名称ではなく事業所の名称を記載してください。

井戸設置の施工者ではなく揚水施設を所有している事業者の担当者を記載してください。

（Ａ４）

（２）

許可申請時における予定の構造等を記載してください。

地下水の揚水施設の構造等				
井戸	井戸の名称又は番号	*１号井戸*		
	さく井年日	*RO年O月O日*		日
	深度（地表面下 m）	*120m*		
	側管の口径（mm）	*150mm*		
	ストレーナの位置（地表面下 m）	*104～116m*		
揚水機	種類、名称及び型式	*ABC 社 40-200VZZ*		
	原動機の定格出力(kW)	*2．2kW*		
	吐出口の口径(mm)	*40mm*		
	吐出口の断面積(cm²)	*12．56cm²*		
	揚水能力(m³/h)(A)	*20m³／h*		
	１日平均使用時間(B)	*4時間*		
	揚水量(m³/日) (A×B)	*80m³／日*		
地下水の用途別使用予定量	ボイラー用(m³/日)	*20m³／日*		
	原料用(m³/日)	*20m³／日*		
	製品処理用(m³/日)			
	洗浄用(m³/日)			
	冷却用(m³/日)	*20m³／日*		
	防災・消防用(m³/日)			
	飲料用(m³/日)			
	農業用(m³/日)			
	散水用(m³/日)			
	その他(m³/日)	*20m³／日*		
	計(m³/日)	*80m³／日*		
水量測定器	種類、名称及び型式	*縦型軸式羽根車式 RSK－40型*		
	口径(mm)	*40mm*		
	検定合格年月日	*RO年O月O日*	年 月 日	年 月 日
	使用開始(予定)年月日	*RO年O月O日*	年 月 日	年 月 日
水温(℃)		*18℃*		

井戸の掘削予定日を記載してください。（申請日より30日後）

100mより深くなるよう設置してください。

2.2kW以下となるよう設置してください。(全揚程が 50 以深も場合には3.7kWまで可能です。)

設置する揚水機の断面積の合計が 22 ㎠以下となるよう設置してください。

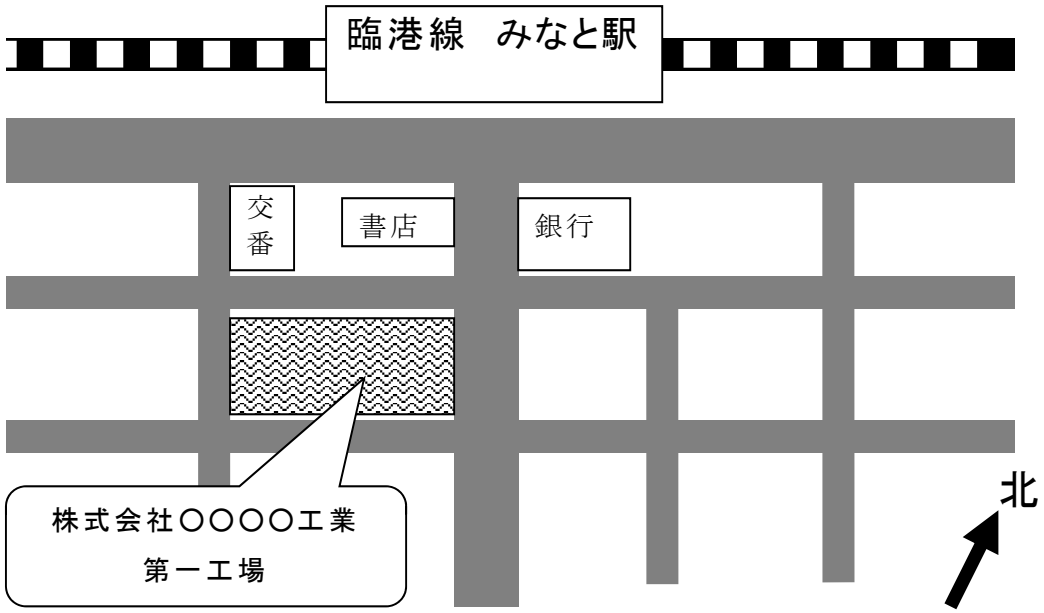
（Ａ４）

<table>
<tr><td colspan="7">水源別使用水量及びその割合</td></tr>
<tr><td>水　　源</td><td>水量(m³/日)</td><td>割合(%)</td><td colspan="2">水　　源</td><td>水量(m³/日)</td><td>割合(%)</td></tr>
<tr><td>工業用水</td><td></td><td></td><td colspan="2">海　　水</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>水　道　水</td><td>20m³／日</td><td>20%</td><td rowspan="2">回収水</td><td>淡　水</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>地　表　水</td><td></td><td></td><td>海　水</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>地　下　水</td><td>80m³／日</td><td>80%</td><td colspan="2">そ　の　他</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>添付書類</td><td colspan="6">☑ 地下水の採取を行う場所の案内図（別図１）
☑ 揚水施設の配置状況図（別図２）
☑ 揚水施設の構造図（別図３）
☑ 地下水の利用系統図（別図４）
☑ 井戸の地質柱状図、揚水試験表等（別図５）
☑ 井戸の水位測定基準面図（別図３）</td></tr>
</table>

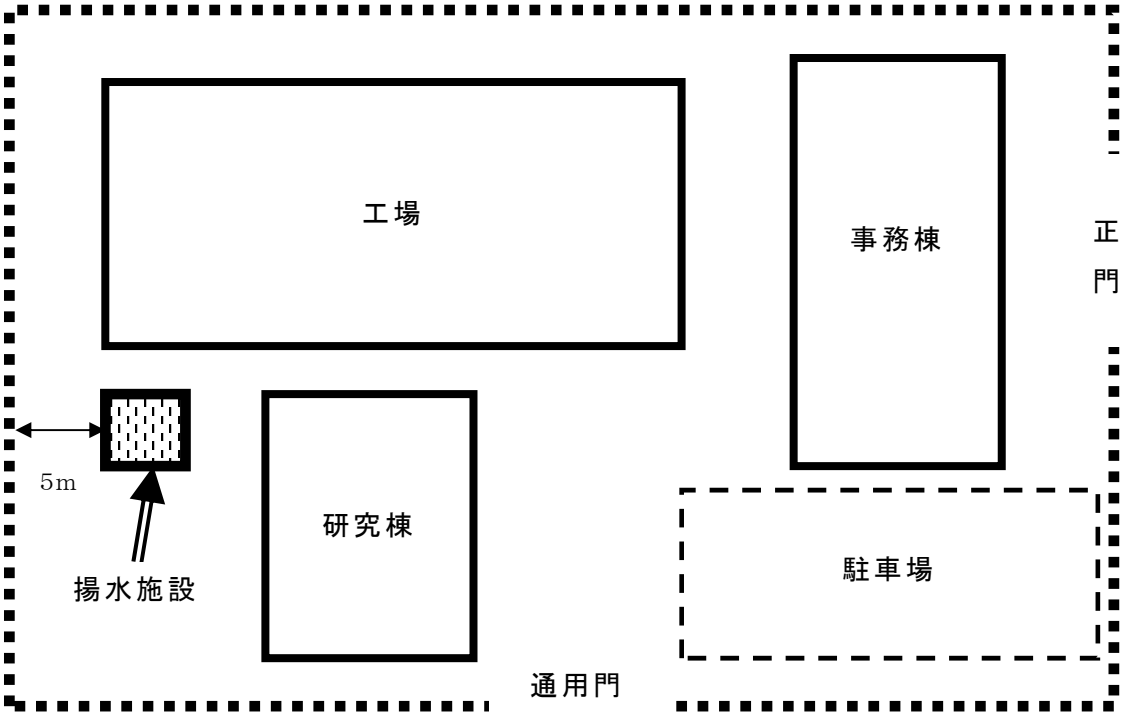
（注意）　添付書類の欄の□には、添付した書類を□内にレ印で記入してください。

（Ａ４）

別図１　案内図



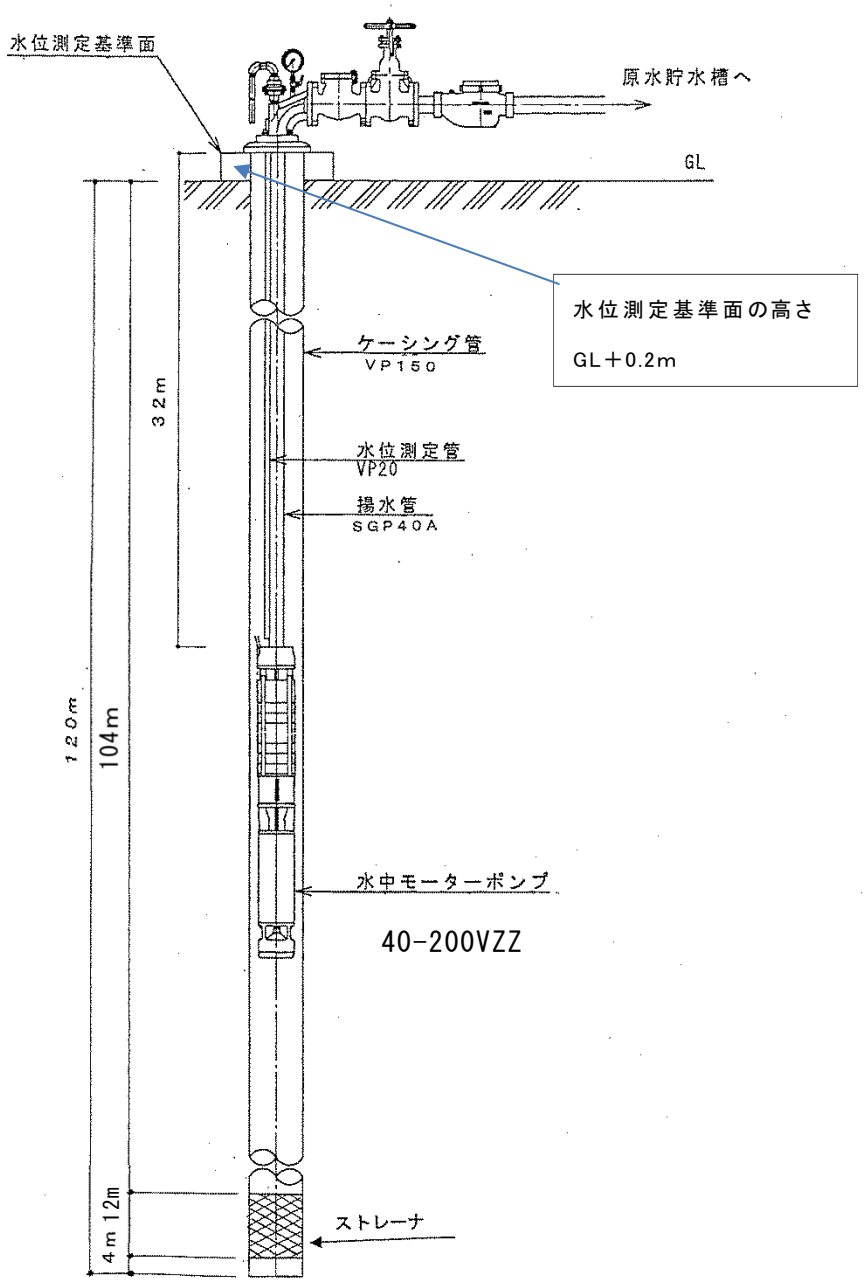
別図２　揚水施設の配置状況図



届出時のポイント

※　揚水施設の設置位置は「民法第237 条」において、「井戸、用水だめ、下水だめ又は肥料だめを掘るには境界線から二メートル以上、池、穴蔵又はし尿だめを掘るには境界線から一メートル以上の距離を保たなければならない。」と規定されていることを踏まえ、井戸の設置位置を決定してください。

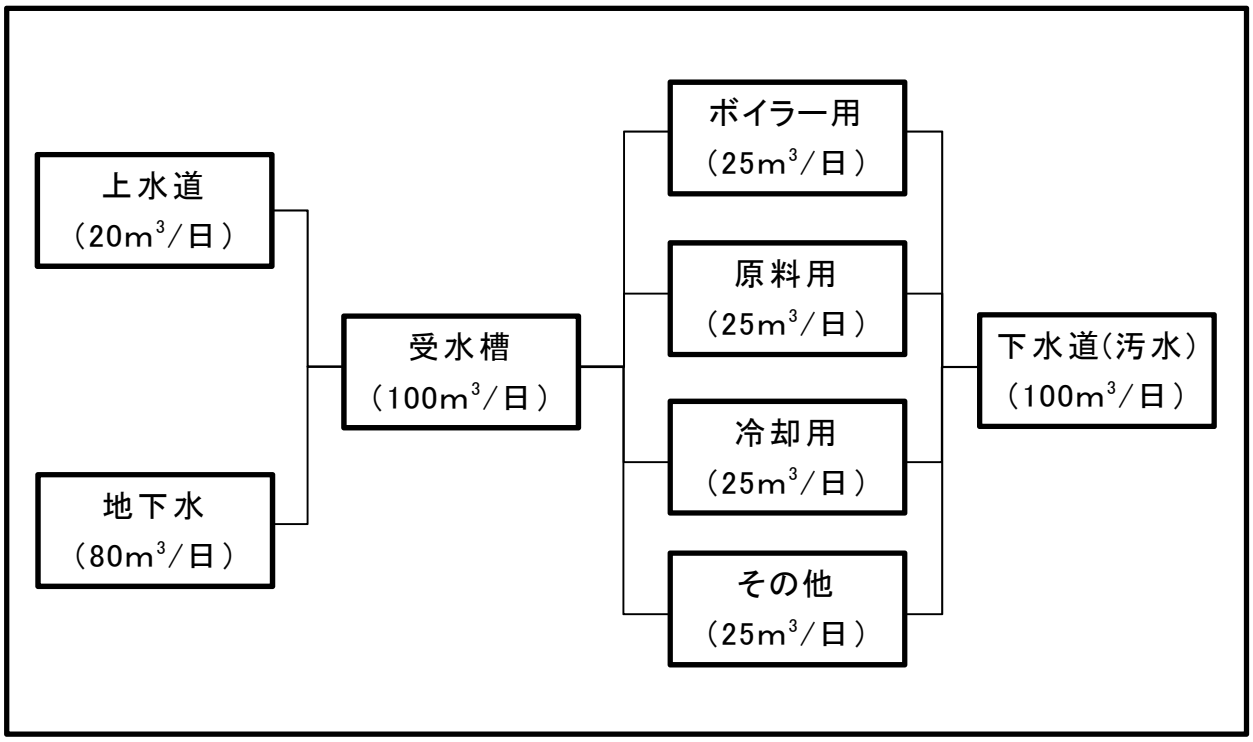
別図３　揚水施設の構造図及び水位測定基準面図



届出時のポイント

※　水位測定基準面については現状の地盤(GL)からの高さを記載してください。

別図４　地下水の利用系統図



届出時のポイント

※1　使用前の水量と使用後の水量がイコールになるよう作成してください。

※2　使用した水を下水道へ流す場合は、「汚水」または「雨水」のどちらに流すのかわかるように記載してください。

別図５－１

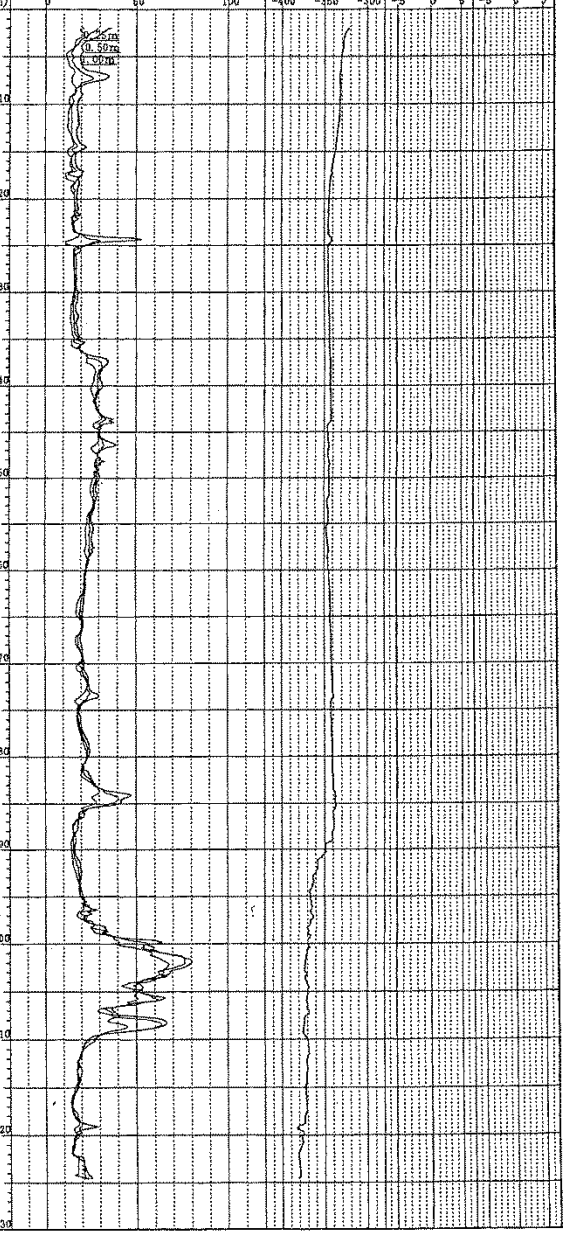
井柱状図

ボーリングNo.

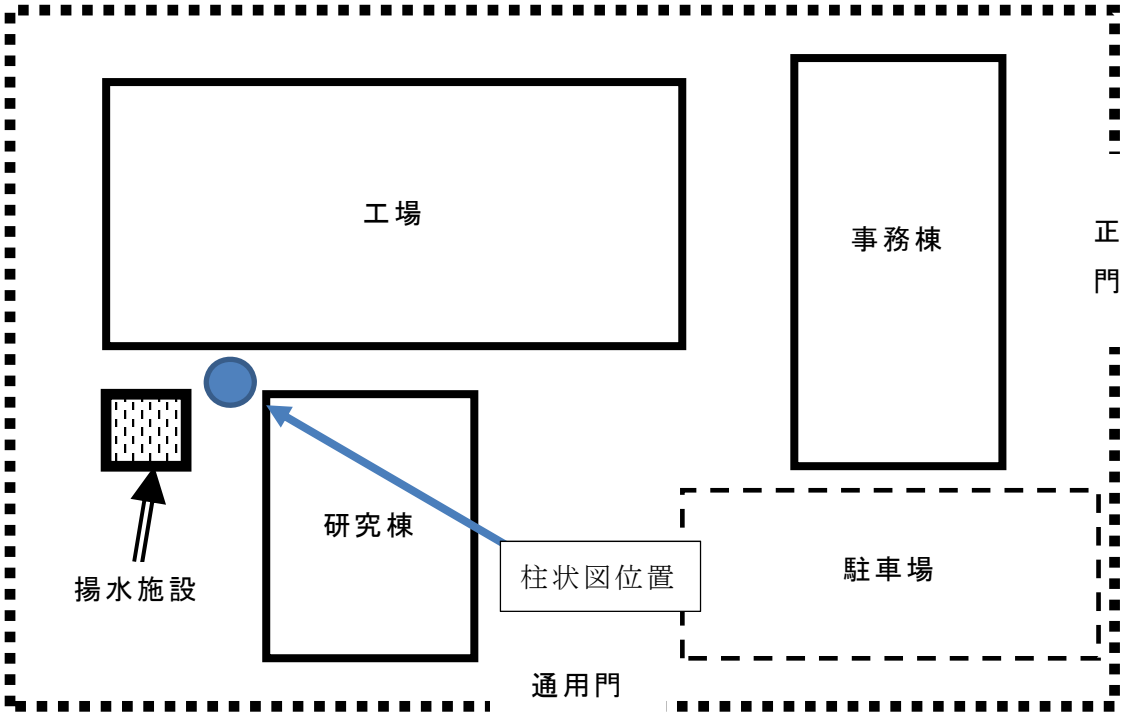
工事名						No.	1
所有者				工期			
施工位置	横浜市			緯度・経度			
深度	120.00 m	管種	VP管	地盤高		水温	
管径	φ 150 mm	ストレーナー種類	丸穴型(サランネット巻)	適正揚水量		限界揚水量		最大揚水量	
掘さく径	φ 310 mm	ストレーナー長	16.00 m	適正揚水位		限界揚水位		最大揚水位	
備考						施工者	

標尺(m)	深度(m)	層厚(m)	柱状図	地質	色調	記事	標本番号	地下水位	井戸構造 管番号	管長(m)	管位(m)	構造図	標尺(m)
	1.50	1.50		埋土	暗茶褐				31	2.00	2.00		
	3.50	2.00		粘土	暗灰				30	4.00	6.00		
									29	4.00	10.00		
									28	4.00	14.00		
									27	4.00	18.00		
									26	4.00	22.00		
									25	4.00	26.00		
									24	4.00	30.00		
									23	4.00	34.00		
									22	4.00	38.00		
									21	4.00	42.00		
									20	4.00	46.00		
	48.50	45.00		泥岩	暗青灰	17m～30m着色あり			19	4.00	50.00		
									18	4.00	54.00		
									17	4.00	58.00		
									16	4.00	62.00		
									15	4.00	66.00		
	68.50	20.00		シルト	暗青灰				14	4.00	70.00		
									13	4.00	74.00		
									12	4.00	78.00		
									11	4.00	82.00		
				貝殻混じりシルト混じり細砂	暗青灰	70m付近着色が少なくなる			10	4.00	86.00		
	86.00	17.50							9	4.00	90.00		
									8	4.00	94.00		
	98.00	12.00		泥岩	暗青灰				7	4.00	98.00		
									6	4.00	102.00		
									5	4.00	106.00		
	110.00	12.00		中細砂	暗青灰	108m付近着色が少なくなる			4	4.00	110.00		
	114.00	4.50		泥岩	暗青灰				3	4.00	114.00		
	116.00	2.50		中細砂	暗青灰				2	4.00	118.00		
									1	2.00	120.00		
	122.00	6.00		泥岩	暗青灰								

孔内検層



柱状図位置図

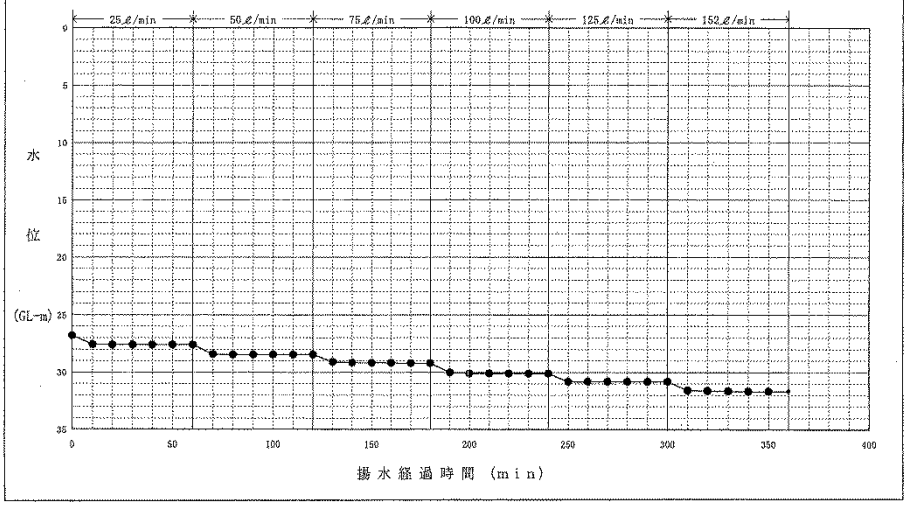


別図５－２

段階揚水試験グラフ

ボーリングNo.　　1 回目

工事名							
管径・深度		自然水位	GL- 26.79 m	水温		試験開始日	
備考							

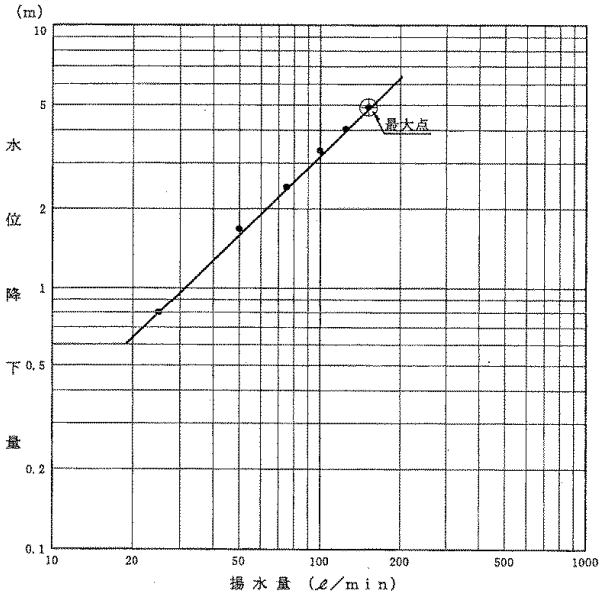


別図５－３

段階揚水試験結果

ボーリングNo.

工事名			
試験日	年　月　日	自然水位	GL- 26.79 m
適正揚水量		適正揚水位	
限界揚水量		限界揚水位	
最大揚水量	152 ℓ/min (218 m³/day)	最大揚水位	GL- 31.68 m
適正揚水量の判定	限界揚水量の75%(揚砂を考慮)		水温
備考			



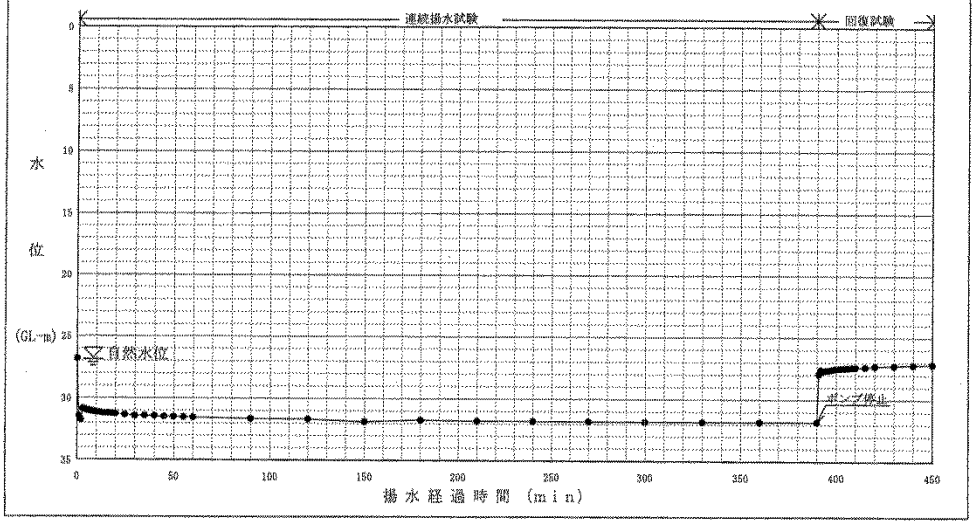
段階	揚水量 (ℓ/min)	揚水量 (m³/day)	水位 (GL- m)	水位降下量 (m)	記事
1	25	36	27.59	0.80	第１段階
2	50	72	28.47	1.68	第２段階
3	75	108	29.22	2.43	第３段階
4	100	144	30.14	3.35	第４段階
5	125	180	30.84	4.05	第５段階
6	152	218	31.68	4.89	第６段階
7					
8					
9					
10					

別図５－４

連続揚水試験・回復試験結果

ボーリングNo.

工事名							
自然水位	GL- 26.85 m	揚水量	152ℓ/min	水温		試験日	
備考							



届出時のポイント

※　地下水の採取量は、揚水試験(段階揚水試験、連続揚水試験等)に基づく適正揚水量(揚水試験により把握することができる、その井戸でくみ上げられる限界揚水量の70%の揚水量)により設定してください。

≪記入例≫

第 28 号様式（第 63 条第１項）

（１）

地下水採取に係る変更許可申請書

令和○年○月○日

（申請先）
横浜市長

申請者　住　所　*横浜市西区○○町一丁目*
氏　名　*株式会社○○○○工業*
代表取締役　横浜　創造
（法人の場合は、名称及び代表者の氏名）

横浜市生活環境の保全等に関する条例第 75 条第１項の規定に
変更の許可を受けたいので、関係書類を添えて申請します。

直近の許可を受けた際の許可番号と年度を記載してください。

最初に許可を受けた時が神奈川県条例運用時であれば「条例附則第２項」にチェックしてください。

事業所の名称等	許可番号	*環創水指令　第３号　（平成 30 年度）*
	根拠等	□　条例第 72 条第１項（　　年　　月　　日） ☑　条例附則第２項
	名　　称	*株式会社○○○○工業　第一工場*
	所在地	*横浜市中区○○町二丁目２－２*
変更事項	□　揚水施設の数の変更　　☑　地下水の採取予定量の変更 □　揚水施設の位置の変更　　□　地下水の用途の変更 □　揚水施設の構造の変更 （□　吐出口の断面積　□　揚水機の定格出力　□　ストレーナーの位置）	
変更内容	変更前	*地下水の採取予定量：80 m^3／日*
	変更後	*地下水の採取予定量：100 m^3／日*
変更理由		*製品製造量の増加により地下水の使用量が増加したため*
変更完了予定年月日		*令和○年○月○日*
連絡先		*総務部　総務課　環境対策係* 担当者氏名　○○　○○ 電話番号　*045-123-4567*　（内線）*直通*）

（注意）　□のある欄には、該当する□内にレ印を記入してください。

（Ａ４）

変更前

（２）

地下水の揚水施設の構造等				
変更許可申請の該当項目		㊟・変・増・廃	既・変・増・廃	既・変・増・廃
井戸	井戸の名称又は番号	*１号井戸*		
	さく井年月日	*R○年○月○日*	年　月　日	年　月　日
	深度(地表面下　m)	*120m*		
	側管の口径(mm)	*150mm*		
	ストレーナの位置 (地表面下　m)	*104～116m*	～ ～ ～	～ ～ ～
揚水機	種類、名称及び型式	*ABC 社* *40-200VZZ*		
	原動機の定格出力(kW)	*2．2kW*		
	吐出口の口径(mm)	*40mm*		
	吐出口の断面積(cm^2)	*12．56cm^2*		
	揚水能力(m^3/h)(A)	*20m^3／h*		
	１日平均使用時間(B)	*4時間*		
	揚水量(m^3/日)　(A×B)	*80m^3／日*		
地下水の用途別使用予定量	ボイラー用(m^3/日)	*20m^3／日*		
	原料用（m^3/日）	*20m^3／日*		
	製品処理用(m^3/日)			
	洗浄用（m^3/日）			
	冷却用（m^3/日）	*20m^3／日*		
	防災・消防用(m^3/日)			
	飲料用（m^3/日）			
	農業用（m^3/日）			
	散水用（m^3/日）			
	その他（m^3/日）	*20m^3／日*		
	計(m^3/日)	*80m^3／日*		
水量測定器	種類、名称及び型式	*縦型軸式羽根車式* *RSK－40型*		
	口径(mm)	*40mm*		
	検定合格年月日	*R○年○月○日*	年　月　日	年　月　日
	使用開始(予定)年月日	*R○年○月○日*	年　月　日	年　月　日
水　温(℃)		*18℃*		

（Ａ４）

変更後

（２）

地下水の揚水施設の構造等				
変更許可申請の該当項目		既・㊎・増・廃	既・変・増・廃	既・変・増・廃
井戸	井戸の名称又は番号	*１号井戸*		
	さく井年月日	*RO年O月O日*	年　月　日	年　月　日
	深度(地表面下　m)	*120m*		
	側管の口径(mm)	*150mm*		
	ストレーナの位置（地表面下　m）	*104～116m*		
揚水機	種類、名称及び型式	*ABC 社 40-200VZZ*		
	原動機の定格出力(kW)	*2．2kW*		
	吐出口の口径(mm)	*40mm*		
	吐出口の断面積(cm^2)	*12．56cm^2*		
	揚水能力(m^3/h)(A)	*20m^3／h*		
	１日平均使用時間(B)	*5時間*		
	揚水量(m^3/日)（A×B）	*100m^3／日*		
地下水の用途別使用予定量	ボイラー用(m^3/日)	*20m^3／日*		
	原料用（m^3/日）	*40m^3／日*		
	製品処理用(m^3/日)			
	洗浄用（m^3/日）			
	冷却用（m^3/日）	*20m^3／日*		
	防災・消防用(m^3/日)			
	飲料用（m^3/日）			
	農業用（m^3/日）			
	散水用（m^3/日）			
	その他（m^3/日）	*20m^3／日*		
	計(m^3/日)	*100m^3／日*		
水量測定器	種類、名称及び型式	*縦型軸式羽根車式 RSK－40型*		
	口径(mm)	*40mm*		
	検定合格年月日	*RO年O月O日*	年　月　日	年　月　日
	使用開始(予定)年月日	*RO年O月O日*	年　月　日	年　月　日
水温(℃)		*18℃*		

変更後の構造については、変更部分のみではなく全ての構造を記載してください。

（Ａ４）

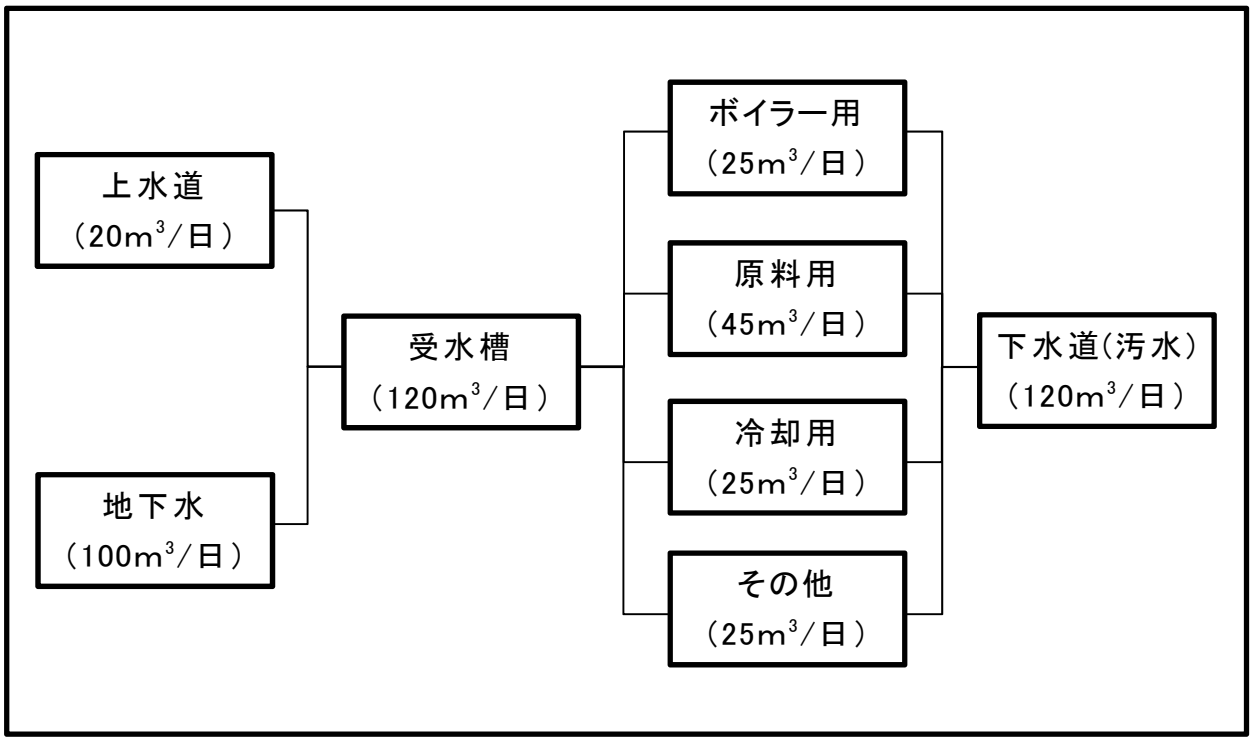
<table>
<tr><td colspan="6">水源別使用水量及びその割合</td></tr>
<tr><td>水　　源</td><td>水量(m³/日)</td><td>割合(%)</td><td colspan="2">水　　源</td><td>水量(m³/日)</td><td>割合(%)</td></tr>
<tr><td>工業用水</td><td></td><td></td><td colspan="2">海　　水</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>水 道 水</td><td>20m³／日</td><td>17%</td><td rowspan="2">回収水</td><td>淡　水</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>地 表 水</td><td></td><td></td><td>海　水</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>地 下 水</td><td>100m³／日</td><td>83%</td><td colspan="2">そ の 他</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>変更に係る
添 付 書 類</td><td colspan="6">☐　地下水の採取を行う場所の案内図
☐　揚水施設の配置状況図
☐　揚水施設の構造図
☑　地下水の利用系統図
☐　井戸の地質柱状図、揚水試験表等
☐　井戸の水位測定基準面図
変更内容に応じて必要な添付書類を作成してください。</td></tr>
</table>

（注意）１　「既」とは既に設置されている揚水施設のうち、本申請に際して変更のないものを、「変」とは本申請に際して変更するものを、「増」とは本申請に際して揚水施設を増設するものを、「廃」とは本申請に際して揚水施設の廃止をするものをいいます。

２　変更に係る添付書類の欄の☐には、当該変更に係る添付した書類を☐内にレ印で記入してください。

（Ａ４）

地下水の利用系統図


上水道
（20m³/日）
地下水
（100m³/日）
受水槽
（120m³/日）
ボイラー用
（25m³/日）
原料用
（45m³/日）
冷却用
（25m³/日）
その他
（25m³/日）
下水道(汚水)
（120m³/日）

問い合わせ先

横浜市 みどり環境局 環境保全部 水・土壌環境課 土壌対策担当

〒231－0005　横浜市中区本町6－50－10（市庁舎 27 階）

TEL：045－671－2494　FAX：045－671－2809

E-mail：mk-dojo@city.yokohama.lg.jp